

基調講演

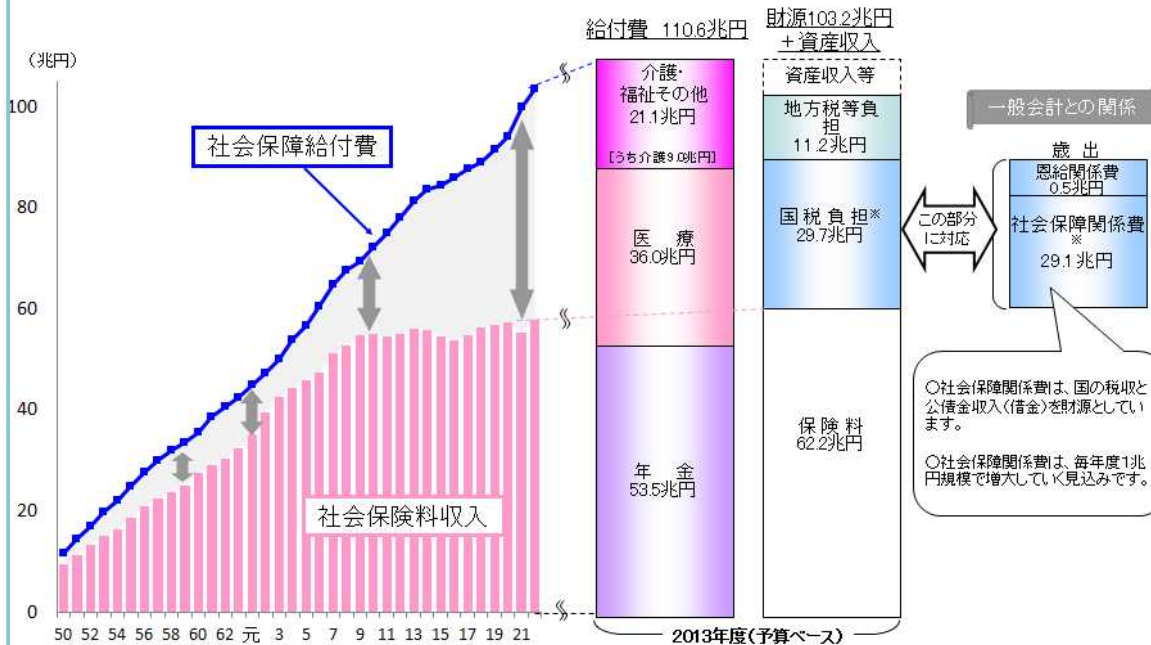
演題：我が国の経済・財政について
 講演者：財務省財務総合政策研究所長 中原 広

◆日本の財政の現状

- ・恒常的な歳入・歳出のギャップ(ワニの口)
- ・公債の累増
- ・社会保障費の自然増

◆日本の財政の問題点

- ・赤字が継続 ⇒ 国債の信任に影響
- ・社会保障費が膨大に ⇒ 担い手の負担増大
- ・財政の硬直化 ⇒ 政策の自由度が阻害



◆財政健全化に向けた取組み(平成25年8月8日閣議了解)の概要

- 基本認識：民需主導の持続的成長と財政健全化の好循環を目指していく。
- 財政健全化に向けた目標：国・地方の基礎的財政収支について、①2015年度までに2010年度に比べ赤字の対GDP比を半減、②2020年度までに黒字化、③その後の債務残高対GDP比の安定的な引下げを目指す。

◆高齢化と財政

- ・高齢化率 7.1%(1970年)⇒24.2%(2012年)
- ・社会保障給付費：保険料で賄われているのは6割程度
 社会保障関係費/一般会計：16.6%(1990年度決算)→23.6%(2013年度当初予算)
- ・若年世代の負担が増加→少子高齢化に拍車がかかる恐れ
- ・人口減少がGDPにマイナス影響(潜在成長率の下落)

◆人口減への対応

- ・労働力人口の確保(女性、高齢者、交流人口)
- ・生産性の向上(イノベーション、構造変化、非価格競争力向上)

◆日本経済の強み

- ・勤勉で平均的学力の高い国民⇒高い現場力(ものづくり、おもてなし)
- ・法制度、社会の安定性、歴史・文化・自然・クールジャパン
- ・元気な高齢者 など

◆地域経済の論点

- ・現状を冷静、客観的に分析した上で、**守るべきは守り、攻めるべきは攻める**
- ・「官」ができること、「民」が担うべきこと、官・民が連携して行うべきことの明確化
- ・他地域の事例(特にうまくいかなかった事例)を学ぶ

◇守り…コストダウン、コンパクト化、ダウンサイズ
 ・インフラ→優先順位をつけて維持すべきものを厳選
 ・公共施設の配置、社会保障の効率化

◇攻め…時代のニーズを先取りした産業振興
 ・シニアニーズ、新興国を含めた海外ニーズ
 ・地域の強みの再発見 →他にない強みが非価格競争力、超過利潤を生む

意見交換(主な意見)

・日本は課題先進国、北陸は、課題先進地域。我々が求める10年先、20年先の社会はどういう社会か、そして何が幸福なのか、そのためにどんな社会を築いていくのか、我々が知恵を出さないといけない。

・大事なことは日本の旗をどう振っていくのかである。GDPを増やすのか、債務を減らすのか。きちんとした視点を置いて、物事を考えないといけない。

・北陸3県には共通したものが色々ある。幸福度もそうだし、産業クラスターもある。現在日本の直面している人口減少・少子高齢化といった課題に対し、長生きして幸せな社会という良いモデルを北陸から世界に発信できる会になったら素晴らしい。なるべきである。

・国の一律的な政策では、地域はもう立ち行かなくなっていることをしっかり見つめていく必要がある。地域固有の課題、地域固有の資源、地域のアイデンティティーを活かしながら地方から戦略を描き出していくべき。